



—発行所—

諏訪地区社会福祉協議会

発行人 小林 繁 和

編集 広報部 会

発行日 令和6年7月1日

TEL 049-254-0747

# 祝 諏訪小学校50周年

諏訪小学校長

石井 勝博

2年目となりました校長の石井勝博と申します。

私の教育理念は「教育愛で、全力で子供たちを育てる！」「気づき、感じる」「すべての教育活動は子供たちのために」です。どうぞよろしくお願いいたします。

諏訪小学校は、今年50周年を迎え、9月27日(金)に記念式典を計画しています。歴史を紐解きますと、昭和47年11月に仮称富士見市立第9小学校として計画が進められ、昭和50年3月20日に校舎が完成し、4月1日に初代校長土屋治三のもと開校いたしました。その後、昭和53年9月1日に体育館



が完成し、同年12月5日に校歌・校章の記念碑除幕式が行われ、昭和55年8月6日にプールが完成しました。富士見市で9番目の小学校だったのです。50年の歴史の中で校長も多く入れ替わり、石井が17代目となります。また、多くの卒業生を送り出し、これまでに6,537人にのぼります。校歌につきまして説明させていただきます。作詞者

は、当時、日本童謡協会会員であった水村三千夫氏であり、作曲家は、音楽家として芸術院賞を受賞し、「ぞうさん」の作曲者としても有名な團 伊玖磨氏(今年、生誕100年)です。体育館の横に、除幕式が行われた記念碑が残っています。また、校長室には、本人直筆の校歌原符が残されています。

校章につきまして説明させていただきます。校長室に大切に保管されている書庫の中から校章の意味することについて次のように述べられていました。

「天に高く 幹は太く  
枝は広く たくましい  
雄々しい 風土の樗  
諏訪をそびえて

歴史は古く 文化は継がれ  
先史の貝塚 縄文の土器 素朴で美しい

風土のまがたま 諏訪を  
ささえて

樗や玉に かこまれて  
次代の諏訪が生まれでる  
希望の諏訪が生まれでる  
心豊かに 生命あふれ



校章の意味することが深く、改めて校章の持つ思いを重く受け止めました。

子供たちには、50周年式典において、これまでの歴史を振り返り、未来に向けた諏訪小学校の伝統を引き継いでほしいと思います。また、生まれ育ったこの諏訪をずっと大好きでいてほしいと願います。

# 令和6年度諏訪地区社会福祉協議会 福祉委員総会

去る5月18日(土)午後6時より、6年度福祉委員総会がぱれっとに於いて開催され、5年度活動報告と6年度の予算と活動計画が承認されました。

## 6年度活動計画

### 高齢者部会

- ① 諏訪小学校区6町会共催事業「敬老会」  
敬老の日(9月16日)三密防止のため中止。
- ② 記念品の配布 節年齢(77歳・88歳・99歳)の方へヤオコー商品券(四千元)、名入れタオル配布予定

### 青少年部会

- ① 環境美化運動  
地域の環境美化意識の向上  
…ゴミ拾い  
町会・老人クラブ・子供育成会等の協力を得ながら実施  
日時 12月7日(土)9時~11時

時

雨天時は12月8日(日)  
(両日雨天の時は中止)

場所 諏訪地区社協6町会地域内

- ② 6町会ミニ体育祭

体育の日(10月12日) 予定  
9:00~12:00

- ③ 健康増進活動

ラジオ体操の推進  
(文化の杜公園ラジオ体操同好会を地区社協の事業として活性化)

### 広報部会

広報誌「福祉すわ」の発行  
6町会全戸配布  
年間3回発行予定(7月、11月、4月) 発行予定数(5千部×3回=1万5千部)

### 会計

- ① 市社協会員、会費の推進(5月~7月ごろ)
- ② 共同募金運動への協力(10月~12月)

## 令和6年度の町会長、副町会長、福祉委員さんの紹介

### 山室町会

町会長 小林 繁和  
副町会長 小島 正敏  
福祉委員 田中 郁代  
石井 誠  
小石 信子  
田嶋 君枝  
紫関 直子

### 諏訪一丁目町会

町会長 泰間 孝雄  
副町会長 南波めぐみ  
福祉委員 荒野 雅子  
小田 仁美  
村上 香菜

### 諏訪二丁目町会

町会長 梅沢 忠和  
副町会長 清野 勉  
福祉委員 雨宮八重子  
榎田えりか  
金井 清  
笠掛 裕子

### 羽沢三丁目町会

町会長 星野 晃  
副町会長 薄 修  
福祉委員 桑名 文男  
工藤 英俊  
矢嶋 正枝  
姫野 悦子  
北川 恵  
千葉 幸男  
桑名 和泉  
秋元めぐみ  
高木 香里  
柳田早友子  
柳田 葉月

### 鶴馬一丁目町会

町会長 鈴木 達雄  
副町会長 萩原 学  
福祉委員 沢田 幸雄  
森田マサ子  
松村 直子  
坂本 裕子  
秋元 政代

### 前谷町会

町会長 幕内 昭彦  
副町会長 倉内 健  
福祉委員 笠野 渚帆  
水谷 ゆみ  
金子 亜希  
野木 桂子

大久保富美子

小宮 政代  
小俣 亜矢



児童福祉

ボランティアグループ

まいまい

代表 谷脇 広子

まいまいは、昭和52年に発足したボランティアグループで、今年48年目を迎えました。埼玉県にある2箇所の児童養護施設の100名近くの子どもたちひとりひとりに、その子にあてたお誕生日プレゼントを毎月持つて行っています。6年前からは、小中高を卒業する子どもたちに卒業祝いもお渡しするようにしました。お誕生日プレゼントと、小学生の卒業祝いは、施設にお預けしお部屋で渡して頂く形ですので、直接子どもたちとお話をしたりする機会は基本的にはないのですが、高校三年生の卒業祝いだけは、直接本人に手渡す場を設けて頂き、卒業生と直接触れ合える貴重な機会になっています。また、



今年から18歳で卒業した子どもたちを対象にした「まいまいcafe」も立ち上げ、悩み等話が出来る居場所づくりも始めました。資金は、会員の会費と、寄付金、助成金等で賄っておりませんが、より多くの方の賛同と援助が頂けると嬉しく思います。一緒に活動して下さる方を募集中です。お誕生カードを作って下さるボランティアの方も同時に募集中ですので、ご連絡をお待ちしております。  
☎090・1437・6410

ぱれっと料理の会

みなさん、こんにちは!! 「ぱれっと料理の会」と申します。スタートは、会食ボランティア「楽味会」が主催する「男性の料理教室」へ参加したのが始まりでした。

楽味会解散後、男性を中心に「ぱれっと料理の会」として引き継ぐことになり現在に至っています。

素人の集まりですが、料理を通して“食”を楽しみ、極力旬の食材を取り入れ、“塩分少なく・カロリー控え目”な献立に挑戦していきます。

今後とも活動を通して社会参加を促し、元気に安心して暮らせるような仲間づくりのお手伝いが出来ればと考えています。

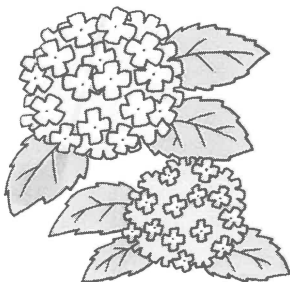
毎月第三水曜日に、和気藹々楽しい時間を過ごしております。お気軽にお声がけください!!!

- ・会員数；70代男性中心に10名
  - ・入会資格：富士見市在住の老若男女（誰でも可）
  - ・活動場所：主に「ぱれっと内調理室」
  - ・活動日：毎月第三水曜日（8月は除く）
  - ・会費：年間1,200円 参加都度500円（食材費などに充当）
  - ・主なボランティア活動：ぱれっとまつり模擬店出店、視覚障害者料理教室の開催、輪っか食堂の開催など
- ※ご連絡お問合せ⇒ぱれっと料理の会代表「鈴木」まで  
090-4524-8032（11：00～14：00）



諏訪小学校行事予定

- 7月1日(月)～5日(金) 個人面談
- 17日(水) 給食終了
- 19日(金) 一学期終業式
- 20日(土)～夏休み
- 21日(日)～22日(月) 5年林間学校
- 8月26日(月) 二学期始業式
- 28日(水) 給食開始
- 10月1日(火) 陸上大会
- 5・6年生
- 19日(土) 運動会



## みんなが集える 優しい居場所

諏訪児童館

館長 田屋 典子

児童館の事務所から諏訪小学校の校庭を見下ろすと元氣いっぱい活動している子どもたちが見えます。ぱれつとが作られてから20年が経ち直営から指定管理（諏訪児童館）となり13年目を迎えています。校庭や児童館で遊んでいた子どもたちが親となりお子さんを連れて顔を見せてくれます。0才から18才、そして親世代と子どもたちの成長を長いスパンで見守れることに幸せを感じています。児童館では、子どもたちが創造性を膨らませ主体的な活動ができるよう取り組んでいます。野球クラブの活動は、遊び道具を廃材で



作り、大会も自分たちで企画し実践しています。コロナ禍で中止していた小学生クッキングの事業も再開し、以前の児童館にほぼ戻っています。

「ぱれつと」の建物の名前の由来は、自分の好きな色で自由に描くことができる。それは自分らしく過ごせる居場所でありますようにという意味が込められています。地域に根差した児童館としてみんなが集える優しい居場所でありたいです。

## 我が家のペット自慢

鶴馬一丁目

森田 典雄

私の愛犬「りゅう」は今年で六才で犬種は「甲斐犬」友人の紹介で生後三ヶ月ほどで我が家の家族となりました。

メチャメチャかわいい男の子です。育てるのに難しい犬種と云う事で一週間ほど休暇を取り基本的なしつけをしながら環境に慣れさせ今日に至ります。

時間をかけての散歩と一部手作りのごはんを食べれば後は大人しく寝ています。あまり手もかからず良い子ですが力が強くやや攻撃的な面があり他のワンちゃんに近づく時は気を使わなければいけません。いわゆる愛玩犬とは少々違う様で野

生味があり昭和の犬と云う感じですね。なので屋外が大好き!! けつこうな雨の日でも散歩に出かけます。

大変な事もありますが、愛犬「りゅう」にはこれからもストレス無く元氣な毎日を送ってもらいたいです。

余談ですが散歩中にワンちゃんの落とすものを目にする事がよくあります。ゴミ等のポイ捨てはダメ!! マナーをしっかり守りましょう。



## 編集後記

能登半島の地震災害から半年が過ぎようとしている。行政・市民が復旧復興に努めているが、いまだ道遠く達成されていない。世界に目を転じてみれば、戦争が終結していない。悲惨な事件は日常生活の中にも侵入している。

AIの普及により利便性がある反面弊害も危惧されるその管理が大変。地球温暖化による山火事の頻発……。

そのような世の中だからこそ人としての「夢」や「幸せ」を失なうことなく仲間たちと楽しく協力しあい力強く生きて、天寿を全うできることが昨今の理想の人生だと思われる。